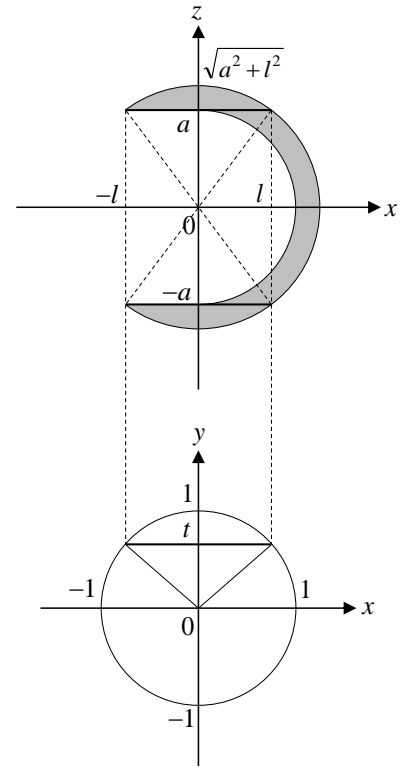


(1)

$xz$  平面上の、長さ  $2l$  の線分  $z=a, -l \leq x \leq l$  を考える。  
 この線分を、 $y$  軸中心に、 $x$  軸の正の方向に向かって半回転させたとき、  
 線分が通った部分は右図のような図形になる。



この図形の、 $x \geq 0$  の部分の面積  $S(l)$  は、外径  $\sqrt{a^2 + l^2}$ 、内径  $a$  の

ドーナツ型の半分であるから

$$S(l) = \frac{1}{2} \pi \{ (a^2 + l^2) - a^2 \} = \frac{1}{2} \pi l^2$$

円板  $D_1$  と平面  $y=t$  ( $-1 \leq t \leq 1$ ) の交差部に現れる線分の長さは、

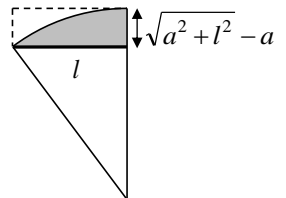
$2\sqrt{1-t^2}$  であるから、求める体積  $W(a)$  は

$$W(a) = \int_{-1}^1 S(\sqrt{1-t^2}) dt = \pi \int_0^1 (1-t^2) dt = \pi \left[ t - \frac{t^3}{3} \right]_0^1 = \frac{2}{3} \pi \quad \dots\dots (\text{答})$$

(2)

(1) の図形の、 $x \leq 0$  の部分の面積を  $T(l)$  とすると  $0 < T(l) < 2l(\sqrt{a^2 + l^2} - a)$

$$2l(\sqrt{a^2 + l^2} - a) = \frac{2l^3}{\sqrt{a^2 + l^2} + a} < \frac{2l^3}{a+a} = \frac{l^3}{a} \quad \therefore 0 < T(l) < \frac{l^3}{a}$$



$l = \sqrt{1-t^2}$  ( $-1 \leq t \leq 1$ ) とすると、 $\int_{-1}^1 T(\sqrt{1-t^2}) dt = V(a) - W(a) = V(a) - \frac{2}{3} \pi$  であるから

$$\therefore 0 < V(a) - \frac{2}{3} \pi < \frac{1}{a} \int_{-1}^1 (1-t^2)^{\frac{3}{2}} dt$$

$\int_{-1}^1 (1-t^2)^{\frac{3}{2}} dt = 2 \int_0^1 (1-t^2)^{\frac{3}{2}} dt$  は、 $a$  によらない正の定数であるから、はさみうちの原理より

$$\lim_{a \rightarrow \infty} \left\{ V(a) - \frac{2}{3} \pi \right\} = 0 \quad \therefore \lim_{a \rightarrow \infty} V(a) = \frac{2}{3} \pi \quad \dots\dots (\text{答})$$

(注)

$\int_0^1 (1-t^2)^{\frac{3}{2}} dt = \frac{3}{16} \pi$  (計算は省略) であるから、 $0 < V(a) - \frac{2}{3} \pi < \frac{3\pi}{8a}$  が成り立つ。